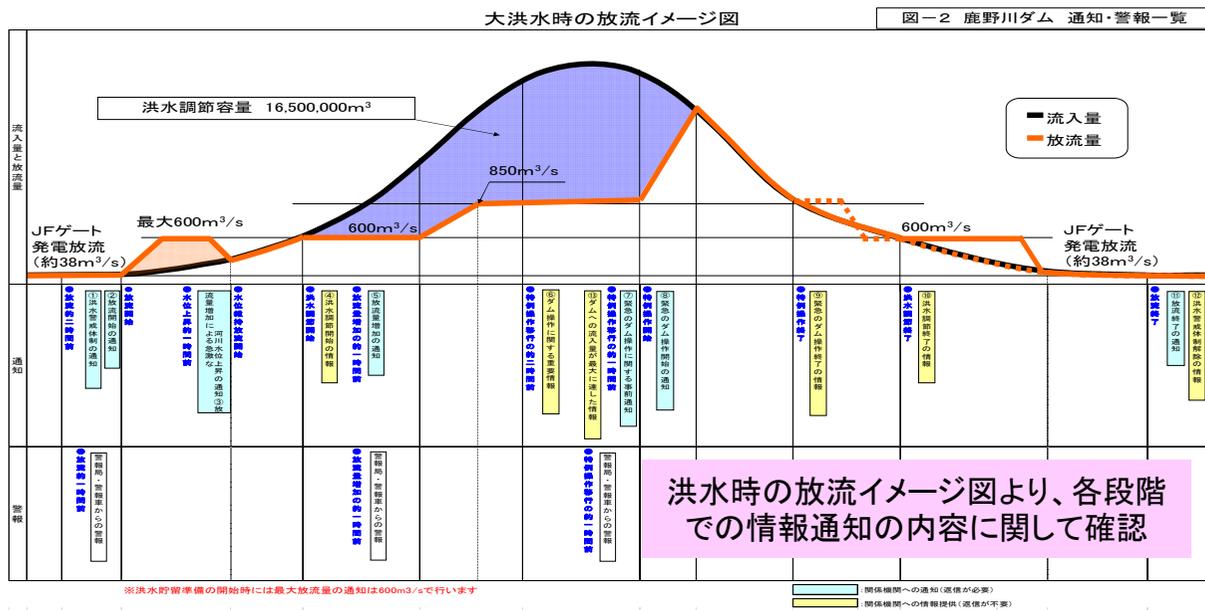


# 鹿野川ダム放流警報周知会の実施

鹿野川ダムでは毎年4月(平成31年度は4月17日実施)、災害を未然に防止することを目的に、国・県(公営企業管理局)・市・警察・消防・報道関係・河川利用者(漁協、うかい登録店、観光協会等)にダム操作方法について理解を得るための周知会を実施している。今回は情報提供(新たに取り組む放流通知【FAX】)等についても確認頂いた。



通知5

所長	副所長	管理課長	専門官	係長	管理係長	係員

通知 (受信確認が必要です)

⑥【重要情報 異常洪水時防災操作移行概ね3時間前】

平成 年 月 日 時 分  
山島坂ダム工事事務所 管理課【鹿野川ダム】  
発信者: \_\_\_\_\_

3時間以内に異常洪水時防災操作に移行する可能性があります！

国土交通省四国地方整備局 山島坂ダム工事事務所が管理する愛媛県大洲市にある肱川水系の鹿野川ダムでは現在、防災操作(洪水貯留)を行っており、日 時 分現在、ダムの有効容量に対する貯水率は約 %、このうち洪水貯留に使用する治水容量の貯水率は約 %となっています。

予測によれば、今後、ダムへの流入量は計画規模を超え、ダムが満水となる可能性があり、日 時 分頃から防災操作(洪水貯留)方法を変更し、異常洪水時防災操作に移行する可能性があります。

日 時時点の予測では、異常洪水時防災操作へ移行後の最大の流出量は、約 m³/s となる見込みです。(ダムの計画上の最大流出量は1500m³/s)

その場合、鹿野川ダムのすぐ下流から河口までの区間では、全域で氾濫の恐れがあります。

なお、異常洪水時防災操作に移行する場合は、概ね1時間前に事前通知しますので、ダムからの連絡等に注意してください。

※「ダムの計画上の最大流出量」とは、ダム下流の河道整備が完了すれば安全に流下できる流出量

■ 今後の降雨状況等により、流入量が増減し、異常洪水時防災操作の移行有無、移行の時期及び最大流出量は変化します。

<ダム操作に関する情報>

【日 時 分現在】

【ユニバーサルデザインにおける警戒レベル】

レベル	1 (注意)	2 (警戒)	3 (危険)	4 (非常事態)
基準値(流出量)	ゲートから流下あり	洪水貯留操作	600m³/s以上	異常洪水時防災操作移行の可能性あり

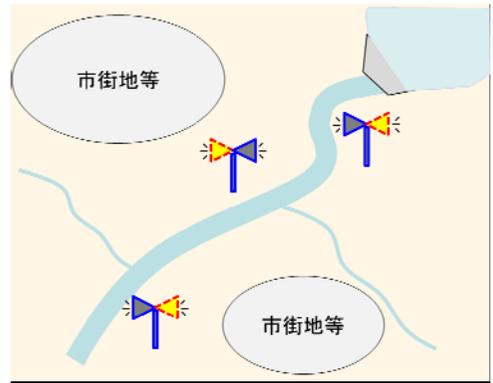
※ダム情報のホームページ URL: <http://www.river.go.jp> 携帯サイト(G-mode): <http://g.river.go.jp>

<受信確認> 鹿野川ダム管理庁舎 TEL: 0893-34-2350 FAX: 0893-34-3928

発信機関	発信者	発信時刻	受信機関	受信者	受信時刻
山島坂ダム工事事務所 管理課【鹿野川ダム】					



53名の参加により実施された鹿野川ダム放流警報周知会【H31.4.17】



情報提供(放流警報【サイレン・スピーカー】)の改良などについても説明・報告

見直しを行った関係機関へのFAX通知